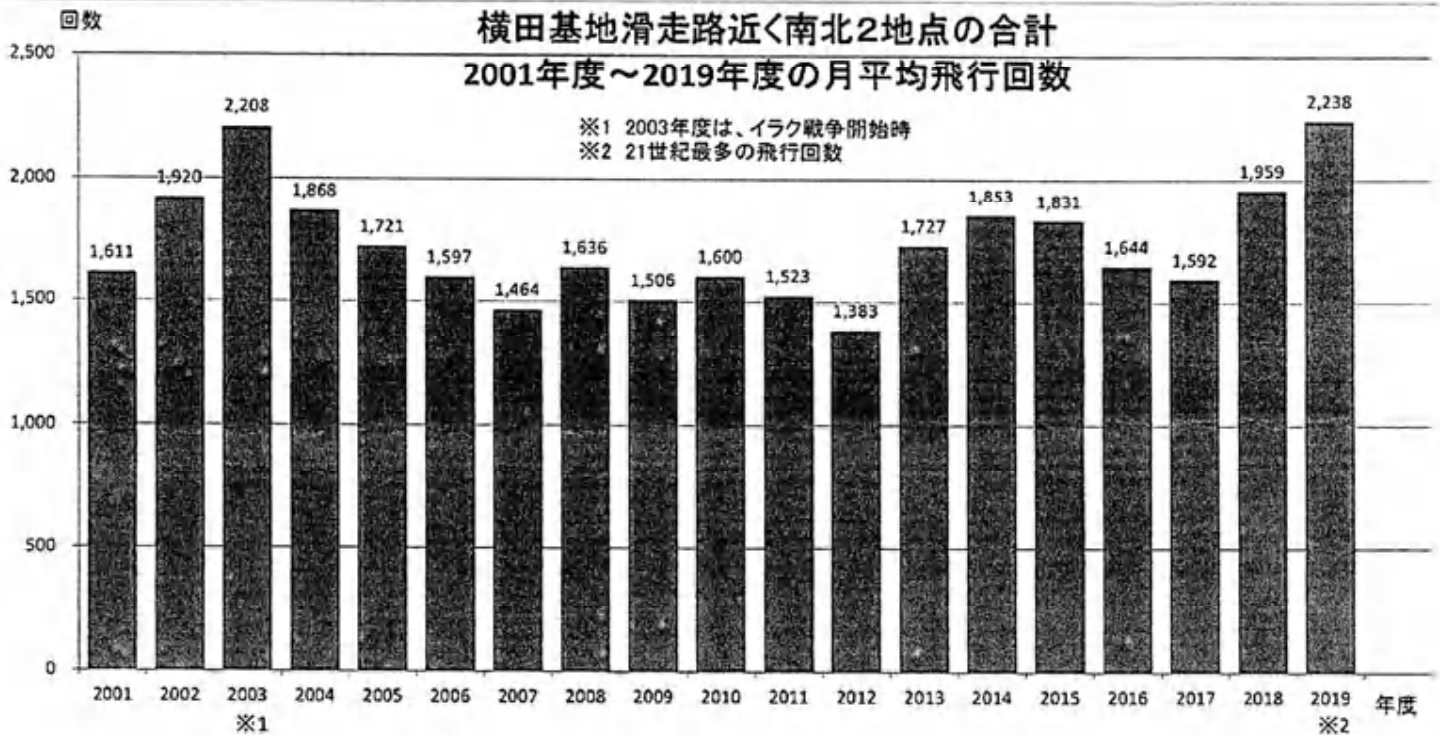


世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.9.15 No.390 東京・羽村平和委員会発行



第138回横田基地撤去座り込み 福生公園で129人参加

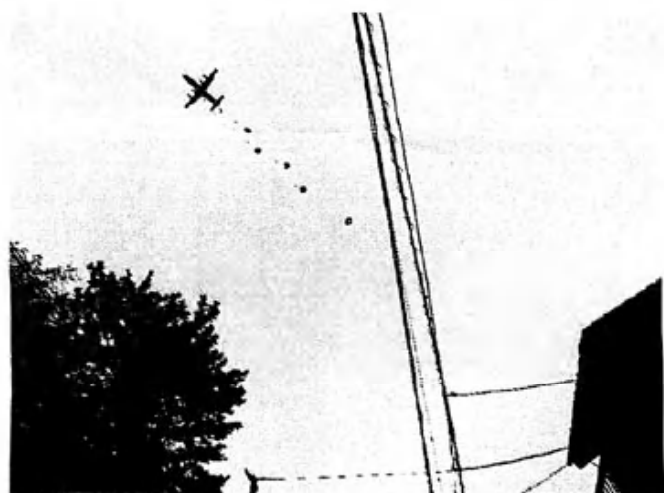


2020年度の飛行が
ひどい!
5ヶ月で 15235回
飛行訓練やめよ!

4月 3407回
5月 2310回
6月 3234回
7月 2565回
8月 3719回

CVオスプレイ何処へ

9月13日、2機離陸
20日、1機戻ってきたが
また北へ



写真：リムピース0916より転載
記事は、地元からの報告です。

嘉手納基地の MC130Jが
横田でタッチアンドゴー
旋回飛行も

横田の輸送機 習志野演習場で陸自空てい降下訓練

陸上自衛隊第1空挺団は9月15日、習志野演習場で米軍機からの空挺降下訓練を強行しました。当初、陸上自衛隊のプレスリリースでは、前日の14日も実施することになっていましたが、「天候不良」を理由におこないませんでした。しかし、監視行動をしていた方からは「観測気球をあげた」という報告も寄せられていることから、直前の中止と思われます。現に米軍横田基地のC-130J-30型機2機が演習場上空をく返し旋回していることが目撃されています。

15日は、当初予定していた時間より約2時間遅れで降下訓練が始まり、高度300~400mから3フライト6降下がおこなわれ、約100人の隊員が演習場内に着地しました。夜間では、午後7時過ぎから始まり、2フライト4降下、約60人が降下しました。

今回の降下訓練で、第1空挺団は、今年に入って、3回目の米軍機からの降下になります。1回目は7月で、茨城空港から宮城県の王城寺演習場へ降下しました。2回目は、8月31日、9月1日に北海道で80人規模で降下しました。

なぜ、頻繁に米軍機からの降下訓練を繰り返すことについて、防衛省は「降下回数を稼ぐ」と説明しています。これは、第1空挺団が、7年前から秋にアラスカで実施される多国間演習(レッドフラッグ・アラスカ)のなかで、米陸軍との共同演習(アーティック・オーロラ)演習で、降下訓練をしてきました。ここでは、「隊員1人あたり、十分な降下訓練ができる」といわれてきました。コロナ禍で、多国間演習(レッドフラッグ・アラスカ)が中止になったことが影響していると考えられます。この間、多国間演習(レッドフラッグ・アラスカ)から降下訓練始めという流れのなかで、今年の降下訓練始めで、初めて米軍機からの降下訓練となりました。まさに日米軍事一体化の象徴といえます。

もうひとつ大きな問題は、防衛省は先月26日に関係自治体に通知したにもかかわらず、公表を控えることを要請したことです。住民無視のこの姿勢は許されるものではありません。